

# ほし・え・ほん

はづみ じゅん



シャーロット・ソトウ さく  
マーガレット・ブレイ・グレアム え  
まつい るりこ やく

(シャーロット・ソトウ作・まつい くに子 訳)  
ほしえ出版 ¥1300

自然の中には感じる白いの中で、雨が降る前の  
何か湿ったような独特の白いが あらゆる  
そこを 感じさせる 1冊を紹介しす。

この本の魅力は、文章のすばらしい自然描写です。  
残念ながら原語では読んだことがないのであるが、  
松井より子 さんがとてもすばらしい訳を載せていて、

絵本 なのであるが、思わず文章に心をとらわれる。  
この本は、書き方が少し変わっていて、絵の部分と、文章の部分と分かれ  
て、配置にあるのである。ですから、私はこの本を読んでいる時、ほんの少し  
眼を閉じてみて、想像してみよう。“丘の上を 大きな銀色のため息がう  
だていく” 様子や、“黄色い花のうっわに、澄んだしずくをだいて、ひかっている  
きんぽうげの花を…。でも、残念ながら日々の観察不足、感性の鈍  
化が邪魔をして、細かい部分が ほんのり もやがかかったように想像  
することができません。

絵本を楽しむためには、  
日々の観察を大切にし、  
感性を磨いていくことは  
必要なのであらう。





ゲリ・ミューラー作・おにーヴン訳  
(1989年発行  
文化出版局 ¥1311税別)

今、これも『ガーデニング』が流行しているようですので、大人も子どもも楽しめる『これぞ楽しいガーデニング』…という本を紹介しよう。

少し真面目すぎる部分があるように思うのですが、絵の美しさと、登りだこさんの内容は、めいの価値があると思います。

ある庭つう、大きなリンゴの木つきの古家に、4人の家族が引越してきました。広い庭です。家族は、話し合い、<sup>そのとき</sup>自分の思いをもちながら庭づくりをします。庭づくりと共に、そのときによってそこに訪れた人や鳥、昆虫たちとの出会いが、とても楽しく描かれています。古い大きなリンゴの木の話もファンタジックです。でも、何れい日を追うごとに、季節を迎えるごとに様々な表情も見える庭が、とても素敵です。絵が細かく、本を開くたびに新たな発見があります。登場する子ども達が育てた野菜のサウダヤリンゴの木から収穫したリンゴで焼いたアップルパイがうらましくて、うらましくて…。

我が家の子どもも、この本を  
読んでみると、決めて…  
「うちも花を植えようね、  
ジャガイモ、にんじんを植え  
ようね。— 今、アップルパイ  
焼いてね。」…と言って困ります。

